

全体総括

○計画期間：令和2年4月～令和7年3月（5年）

1. 計画期間終了後の市街地の概況

本市は、第2期岩国市中心市街地活性化基本計画（令和2年2月策定）に基づき、『みんなが考え、みんなが進める、みんなに優しいまちづくり』を基本テーマとし、官民協働で各種事業に取り組んだ。

まず、ハード事業では、岩国駅東口元町地区優良建築物等整備事業が2022（令和4）年3月に完了し、住宅41戸が供給された。1階には体験型英語交流センター（PLATABC）がオープンし、英語の学びや国際交流の拠点施設としてイベントを開催している。2020（令和2）年9月には東小・中学校校舎建設事業が完了し、施設一体型の小中一貫教育が行われている。また、まちなかでの創業支援やコワーキング、シェアオフィスの整備に取り組み、2021（令和3）年2月に「岩国しごと交流・創業スペースClass Biz.（クラスビズ）」が、2022（令和4）年4月に「いわくにワークスペースClass Labo（クラスラボ）」がオープンした。

ソフト事業では、まちなか再生事業助成金やまちなか経営技術強化支援事業などにより、空き店舗対策や創業支援、経営の持続化支援等取り組んだ。

これらの取組により中心市街地には一定の来街環境や居住環境が整った。

一方で、計画期間中に新型コロナウイルス感染症による外的影響を大きく受け、各種目標指標の数値が減少するなど、中心市街地の商業活性化は継続的な課題となっている。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

（基準日：毎年度1月1日）

（中心市街地 区域）	平成30 年度 （基準 値）	令和元年 度 （計画年 度）	令和2 年度 （1年 目）	令和3 年度 （2年 目）	令和4 年度 （3年 目）	令和5 年度 （4年 目）	令和6 年度 （5年 目）
人 口	4,658人	4,714人	4,693人	4,610人	4,645人	4,567人	4,550人
内 訳	年 少	541人	544人	528人	526人	540人	520人
	生 産	3,014人	3,069人	3,046人	2,956人	2,960人	2,898人
	老 年	1,103人	1,101人	1,119人	1,128人	1,145人	1,132人
人口増減数	121人	56人	△21人	△83人	35人	△78人	△17人

2. 計画した事業等は予定どおり進捗・完了したか。また、中心市街地の活性化は図られたか。(個別指標ごとではなく中心市街地の状況を総合的に判断)

**【進捗・完了状況】**

- ①概ね順調に進捗・完了した                       ②順調に進捗したとはいえない

**【活性化状況】**

- ①かなり活性化が図られた  
 ②若干の活性化が図られた  
 ③活性化に至らなかった(計画策定時と変化なし)  
 ④活性化に至らなかった(計画策定時より悪化)

3. 進捗状況及び活性化状況の詳細とその理由(2.における選択肢の理由)

基本計画掲載事業については、概ね順調に進捗しており、ハード事業については、10事業のうち7事業が完了し、3事業が継続実施中であり、ソフト事業については、18事業すべてが継続実施している。

目標指標である「事業所数」及び「空き店舗率」については、「空き店舗活用助成事業」などの事業により、新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、5年間で57店の出店に繋げ、商店街の飲食店やサービス業などの事業所数や空き店舗率は回復傾向にある。

「歩行者等通行量」の達成状況についても、新型コロナウイルス感染症という外的要因の影響もあり大きく減少し、その後回復傾向にあるものの、目標値の達成には至っていないことから、引き続き取組が必要な状況にある。

一方で、「居住人口」については、「岩国駅東口元町地区優良建築物等整備事業」により、岩国駅東口周辺の利便性が高まったことに加え、共同住宅の建設の増加により、市全体が人口減少にある中でも維持している。

こうした状況を踏まえ、中心市街地においては「若干の活性化が図られた」と判断する。

4. 中心市街地活性化基本計画の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

**【活性化状況】**

- ①かなり活性化が図られた  
 ②若干の活性化が図られた  
 ③活性化に至らなかった(計画策定時と変化なし)  
 ④活性化に至らなかった(計画策定時より悪化)

**【詳細を記載】**

岩国市中心市街地活性化協議会としては、行政と民間が一体となって中心市街地の活性化に取り組んだ結果、計画に位置付けた事業等は概ね順調に進捗していると考えられる。

目標指標において、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、「事業所数」や

「通行量」が一時的に大きく落ち込んだものの、空き店舗対策や創業支援等など、計画に沿った取組を継続したことで、目標指標の数値はその後回復傾向にある。この点から一定の成果はあったものと評価している。

また中心市街地の活性化には長期にわたる継続的な取組が不可欠である。特に、令和3年度に計画に追加した「岩国駅前南地区第一種市街地再開発事業」及び「岩国駅周辺にぎわい創出施設整備事業」については、岩国駅西口の民間事業者による自主的なまちづくりの中で、官民が連携して、それぞれの役割分担を踏まえ、事業の具体化に向け、より一層推進していく必要がある。

今後も第2期計画で掲げたまちづくりの基本的な姿勢を引き継ぎ、定着させていくとともに中心市街地内の事業者や居住者を中心とした、市民・事業者・行政などの多様な主体による能動的・持続的なまちづくりを進めていく。これにより、来街者や居住者、事業者に「選ばれる、何度も訪れたいまち、居心地のいいまち」の実現を目指し、取り組んでいく所存である。

## 5. 市民意識の変化

### 【活性化状況】

- ①かなり活性化が図られた
- ②若干の活性化が図られた
- ③活性化に至らなかった（計画策定時と変化なし）
- ④活性化に至らなかった（計画策定時より悪化）

### 【詳細を記載】

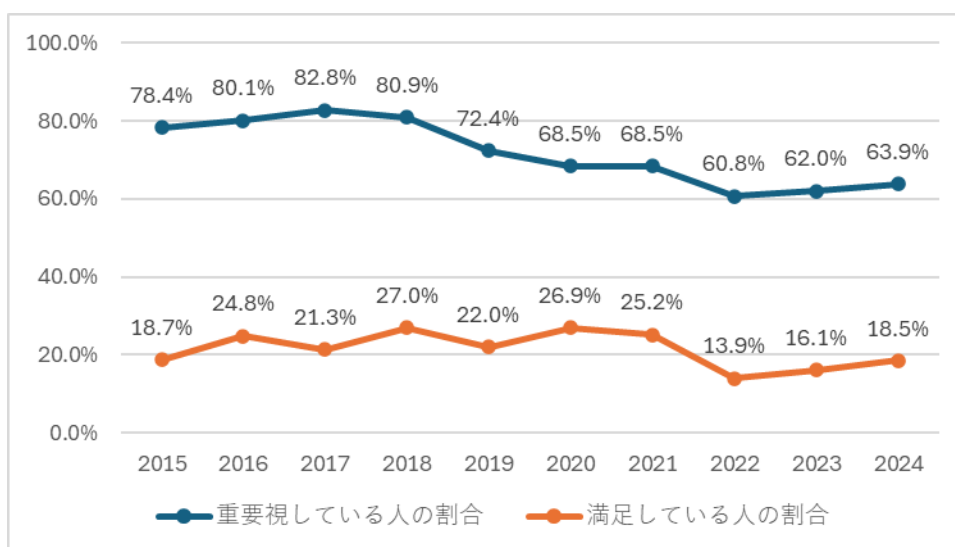
#### ○岩国市民満足度調査

調査日：毎年度1回実施

調査方法：郵送配布・郵送回収及びインターネット回答

有効回収数：令和6年度 1,096人

#### <中心市街地の活性化に対する満足度>



毎年度実施している市民満足度調査において、中心市街地の活性化への取組については「重要である」「やや重要」が6割以上あるものの、「満足している」「やや満足」が2割以下となっている。

## 6. 今後の取組

中心市街地活性化協議会の中で、中心市街地内の現状分析や第2期計画の事業進捗状況、事業効果の検証及び継続の必要性、更に、新たな事業の構築などを総合的に勘案し、今後も継続した取組が必要であるという結論に至った。このため、令和7年3月に「第3期岩国市中心市街地活性化基本計画」を策定した。今後この計画に沿って官民が連携し、引き続き中心市街地活性化に向けた事業を推進する。

また、中心市街地の活性化に資する事業を中心となって実施している株式会社街づくり岩国においては、まちづくり関係者が共通の将来像に向けて、統一的なまちづくり活動を実施するための「岩国駅周辺地区グランドデザイン」を引き続き推進する。

具体的な取組としては、空き店舗などの遊休不動産等を活用した不動産所有者によるリノベーションなど、魅力的な店舗施設として再生するための助成制度やこれまでの創業支援、事業継続のための経営技術支援に加えて、街への集客や回遊性を促すためのまちの情報発信の強化を実施する。

また、まちなかにおけるにぎわい創出に向けたイベントの実施や交流促進、滞在環境の向上や国際交流の促進などについて、多様な主体の参画や活躍機会を増やし、各活動組織や地域事業者が企画・実行の主体を担えるよう人材育成支援などに取り組むことで、地域住民や来街者をはじめとした市民の満足度向上につながる持続可能なにぎわいの創出を行う。

今後も効果を継続していくことが重要であることから、目標の達成状況に関する目標指標に基づく評価を行い、PDCAサイクルを継続し、随時取組の改善を行う。

(参考)

### 各目標の達成状況

目標	目標指標	基準値	目標値	(参考) 目標値の 80%	最新値		達成状況
					(数値)	年月	
魅力と個性あふれる持続可能な商業空間の創出	①小売業・宿泊業・飲食サービス業・生活関連サービス業・娯楽業の事業所数(岩国駅周辺商店街通り区域)	216 店舗 (H30)	230 店舗 (R6)	227 店舗 (R6)	216 店舗 (R6)	R7.3	B2

〃	②本通商店街・中通り商店街・中央通り商店街の空き店舗率	14.7% (H30)	12.2% (R6)	12.7% (R6)	15.3% (R6)	R6.12	C
多くの人が集まり、楽しめ、暮らせる快適な生活空間の創出	③歩行者等通行量 (平日)	15,361人 (H30)	15,900人 (R6)	15,792人 (R6)	12,452人 (R6)	R7.2	C
〃	④歩行者等通行量 (休日)	13,823人 (H30)	13,700人 (R6)	13,725人 (R6)	10,995人 (R6)	R7.2	C
〃	⑤居住人口	4,658人 (H30)	4,719人 (R6)	4,707人 (R6)	4,550人 (R6)	R7.1	C

注) 達成状況欄 (注: 小文字の a、b1、b2、c は下線を引いて下さい)

A (計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了。さらに、最新の実績でも目標値を超えることができた。)

a (計画した事業は予定どおり進捗・完了しなかった。一方、最新の実績では目標値を超えることができた。)

B1 (計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了。また、最新の実績では目標値の80%を達成。)

B2 (計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了。一方、最新の実績では目標値の80%には及ばず。)

b1 (計画した事業は予定どおり進捗・完了しなかった。一方、最新の実績では目標値の80%を達成)

b2 (計画した事業は予定どおり進捗・完了しなかった。また、最新の実績では目標値の80%には及ばず。)

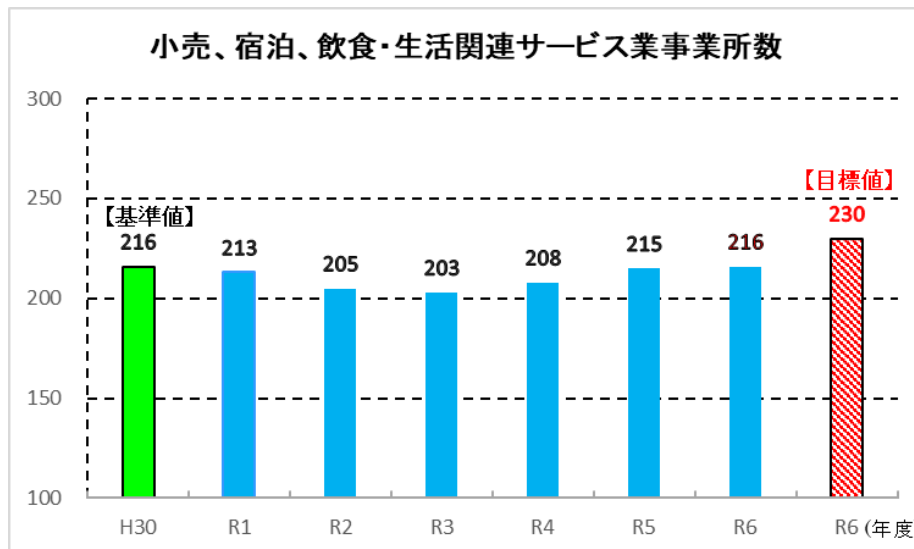
C (計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了。一方、最新の実績では目標値および基準値にも及ばなかった。)

c (計画した事業は予定どおり進捗・完了しなかった。また、最新の実績では目標値および基準値にも及ばなかった。)

「小売業・宿泊業・飲食サービス業・生活関連サービス業・娯楽業の事業所数（岩国駅周辺商店街通り区域）」

※目標設定の考え方基本計画 P53・54 参照

### 1. 調査結果の推移



年度	(単位：店)
H30	216 店 (基準年値)
R1	213 店
R2	205 店
R3	203 店
R4	208 店
R5	215 店
R6	216 店
R6	230 店 (目標値)

※調査方法：机上及び現地調査を実施。

※調査月：令和7年3月

※調査主体：岩国市

※調査対象：岩国駅周辺商店街通り区域の小売業・宿泊業・飲食サービス業・生活関連サービス業・娯楽業の事業所数

### 2. 目標の達成状況【B2】

目標指標である小売、宿泊、飲食・サービス業の事業者数の増加に向けた各事業については、概ね予定どおり進捗・完了した。

令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響によりやや減少したものの、創業者等が活用する「まちなか再生事業」（空き店舗活用助成事業、まちなか店舗魅力向上助成事業、まちなかりノベーション助成事業、まちなか商業施設等建築促進助成事業の総称）の申請件数は年々増加し、事業所数は令和3年度以降回復した。しかしながら、目標達成には至らなかったため達成状況はB2とした。

### 3. 目標達成に寄与する主要事業の計画終了後の状況（事業効果）

- ①空き店舗活用助成事業（岩国市）
- ②まちなか店舗魅力向上助成事業（岩国市）
- ③まちなかりノベーション助成事業（岩国市）
- ④まちなか商業施設等建築促進助成事業（岩国市）
- ⑤まちなか経営技術強化支援事業（岩国商工会議所）

事業実施期間	<p>①空き店舗活用助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】</p> <p>②まちなか店舗魅力向上助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】</p> <p>③まちなかりノベーション助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】</p> <p>④まちなか商業施設等建築促進助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】</p> <p>⑤まちなか経営技術強化支援事業 令和2年度～令和6年度【実施中】</p>
事業概要	<p>①エリア内の空き店舗の新規出店者に対して助成措置を講ずることにより、新たな出店を促進する。</p> <p>②既存事業者に対して店舗の魅力を向上させるための改修を助成する。</p> <p>③不動産所有者に対して遊休不動産の活用を図るための改築の費用を助成する。</p> <p>④不動産所有者に対してにぎわいを創出する商業施設等の建築の費用を助成する。</p> <p>⑤店舗経営を行う人に対して、専門家を訪問させ、気軽な経営相談の機会を与え、安定した事業継続を促進する。</p>
国の支援措置名及び支援期間	なし
目標値・最新値及び達成状況	目標値：18店舗増 最新値：57店舗増 目標達成
達成した（出来なかった）理由	空き店舗活用対策事業などにより、57店舗が中心市街地内に出店した。
計画終了後の状況（事業効果）	新規出店57店舗のうち、現在も40店舗が営業を継続しており、中心市街地のにぎわいの創出に寄与している。
事業の今後について	令和7年度も引き続き、本事業を推進し、空き店舗率を減少させ、にぎわいの創出を図る。

#### 4. 今後の対策

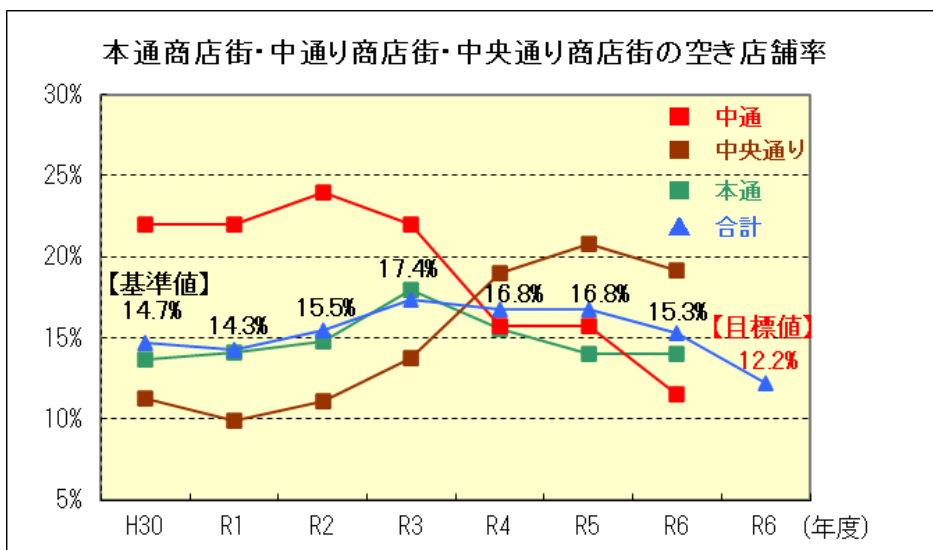
まちなか再生事業は、一時的な空き店舗の解消ではなく、計画的、継続的なまちの活性化を図るため制度を見直しながら引き続き実施する。

まちなか経営技術強化支援事業についても引き続き推進し、創業後の能動的なサポートを行うことで、事業所数の増加を図る。

「本通商店街・中通り商店街・中央通り商店街の空き店舗率」

※目標設定の考え方基本計画 P54～56 参照

1. 調査結果の推移



年度	(単位:店)
H30	14.7% (基準年値)
R1	14.3%
R2	15.5%
R3	17.4%
R4	16.8%
R5	16.8%
R6	15.3%
R6	12.2% (目標値)

※調査方法：現地調査

※調査月：令和6年12月

※調査主体：岩国市

※調査対象：本通商店街・中通り商店街・中央通り商店街

2. 目標の達成状況【C】

目標指標である卸売・小売業、宿泊・飲食サービス業の事業所数の増加に向けた事業については、概ね予定どおり進捗・完了した。

令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、目標値には達しなかったものの、空き店舗活用助成事業に継続的に取り組み、商店街へは年平均9件の新規出店が行われ、横這いを保ったことから、達成状況はCとした。

3. 目標達成に寄与する主要事業の計画終了後の状況（事業効果）

- ①空き店舗活用助成事業（岩国市）【再掲】
- ②まちなか店舗魅力向上助成事業（岩国市）【再掲】
- ③まちなかりノベーション助成事業（岩国市）【再掲】
- ④まちなか商業施設等建築促進助成事業（岩国市）【再掲】
- ⑤まちなか経営技術強化支援事業（岩国商工会議所）【再掲】

事業実施期間	①空き店舗活用助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ②まちなか店舗魅力向上助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ③まちなかりノベーション助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】
--------	---

	<p>④まちなか商業施設等建築促進助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】</p> <p>⑤まちなか経営技術強化支援事業 令和2年度～令和6年度【実施中】</p>
事業概要	<p>①エリア内の空き店舗の新規出店者に対して助成措置を講ずることにより、新たな出店を促進する。</p> <p>②既存事業者に対して店舗の魅力を向上させるための改修を助成する。</p> <p>③不動産所有者に対して遊休不動産の活用を図るための改築の費用を助成する。</p> <p>④不動産所有者に対してにぎわいを創出する商業施設等の建築の費用を助成する。</p> <p>⑤店舗経営を行う人に対して、専門家を訪問させ、気軽な経営相談の機会を与え、安定した事業継続を促進する。</p>
国の支援措置名及び支援期間	なし
目標値・最新値及び達成状況	目標値：空き店舗率 12.2%      最新値：空き店舗率 15.3% 目標未達成
達成した（出来なかった）理由	<p>空き店舗対策事業などにより、中心市街地内に 57 店の出店につながった。</p> <p>しかしながら、区域内で平準化した助成を実施したことにより、商業区域が分散化され、本通商店街・中通商店街・中央通り商店街内への出店は 20 店にとどまった。</p> <p>また、新規出店を見込む事業者が求める物件がないことも、駅前商店街の空き店舗率の減少に繋がらなかったものとする。</p>
計画終了後の状況（事業効果）	新規出店 57 店舗のうち、現在も 40 店舗が営業を継続しており、中心市街地のにぎわいの創出に寄与している。
事業の今後について	令和7年度も引き続き、本事業を推進し、新たな出店を促進しつつ、にぎわいの創出を図る。

#### 4. 今後の対策

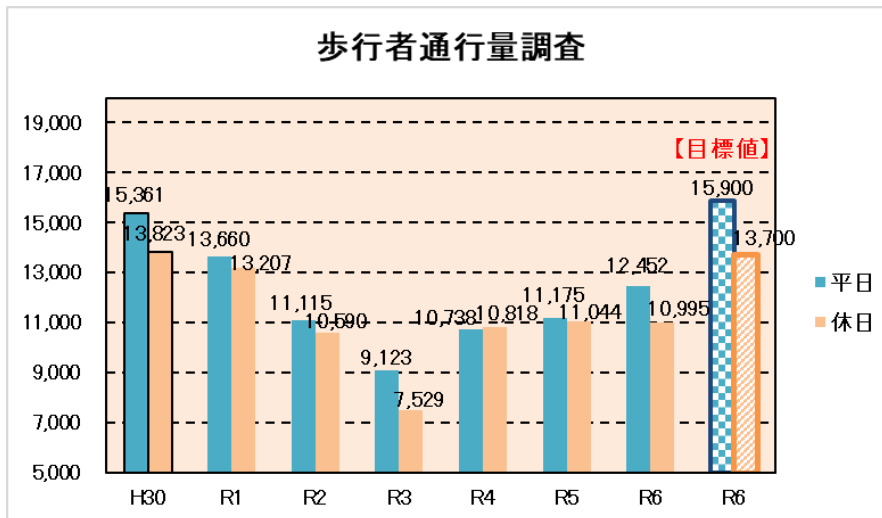
まちなか再生事業は、一時的な空き店舗の解消ではなく、計画的、継続的なまちの活性化を図るため制度を見直しながらか引き続き実施する。

まちなか経営技術強化支援事業についても引き続き推進し、創業後の能動的なサポートを行うことで、店舗の経営の持続を図る。

「歩行者等通行量」

※目標設定の考え方基本計画 P57～59 参照

1. 調査結果の推移



※調査方法：歩行者と自転車の通行量を毎年1月末の木曜日と日曜日に10時から19時に計測

※調査月：令和7年1月

※調査主体：岩国市

※調査対象：中心市街地内16箇所17地点

年度	(単位)
H30	平日 15,361 人/日 休日 13,823 人/日 (基準年値)
R1	平日 13,660 人/日 休日 13,207 人/日
R2	平日 11,115 人/日 休日 10,590 人/日
R3	平日 9,123 人/日 休日 7,529 人/日
R4	平日 10,738 人/日 休日 10,818 人/日
R5	平日 11,175 人/日 休日 11,044 人/日
R6	平日 12,452 人/日 休日 10,995 人/日
R6	平日 15,900 人/日 休日 13,700 人/日 (目標値)

2. 目標の達成状況【C】

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和元年度以降大きく減少した。

令和4年度以降は開催を見合わせていたイベントの再開や経済活動の正常化により、徐々に回復傾向にはあるが、目標値には届かなかったため、Cとした。

3. 目標達成に寄与する主要事業の計画終了後の状況（事業効果）

- ①空き店舗活用助成事業（岩国市）
- ②まちなか店舗魅力向上助成事業（岩国市）
- ③まちなかりノベーション助成事業（岩国市）【再掲】
- ④まちなか商業施設等建築促進助成事業（岩国市）【再掲】
- ⑤まちなか経営技術強化支援事業（岩国商工会議所）【再掲】

事業実施期間	<p>①空き店舗活用助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】</p> <p>②まちなか店舗魅力向上助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】</p> <p>③まちなかりノベーション助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】</p> <p>④まちなか商業施設等建築促進助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】</p> <p>⑤まちなか経営技術強化支援事業 令和2年度～令和6年度【実施中】</p>
事業概要	<p>①エリア内の空き店舗の新規出店者に対して助成措置を講ずることにより、新たな出店を促進する。</p> <p>②既存事業者に対して店舗の魅力を向上させるための改修を助成する。</p> <p>③不動産所有者に対して遊休不動産の活用を図るための改築を助成する。</p> <p>④不動産所有者に対してにぎわいを創出する商業施設等の建築を助成する。</p> <p>⑤店舗経営を行う人に対して、専門家を訪問させ、気軽な経営相談の機会を与え、安定した事業継続を促進する。</p>
国の支援措置名及び支援期間	なし
目標値・最新値及び達成状況	<p>目標値：平日 684 人/日増、休日 630 人/日増 最新値：事業効果計測不能</p> <p>全体目標未達成</p>
達成した（出来なかった）理由	<p>空き店舗対策事業などにより、中心市街地内に 57 店の出店につながったが、歩行者通行量は伸びず、店を訪れた人が目的の場所に行くだけで、その後の回遊には繋がっていない。</p>
計画終了後の状況（事業効果）	<p>新規出店 57 店舗のうち、現在も 40 店舗が営業を継続しており、中心市街地のにぎわいの創出に寄与している。</p>
事業の今後について	<p>事業効果の検証を踏まえ、効率・効果的は手法で継続実施する。</p>

- ⑥まちなかイベント・セミナー推進事業（岩国市・株街づくり岩国・民間事業者）
- ⑦まちなか情報発信事業（株街づくり岩国）
- ⑧交通安全対策事業（岩国市）
- ⑨防犯設備整備事業（岩国市）
- ⑩まちなか空間魅力向上事業（岩国市・株街づくり岩国・民間事業者）

事業実施期間	⑥まちなかイベント・セミナー推進事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ⑦まちなか情報発信事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ⑧交通安全対策事業 平成25年度～令和6年度【実施中】 ⑨防犯設備整備事業 令和元年度～令和2年度【完了】 ⑩まちなか空間魅力向上事業 令和2年度～令和6年度【実施中】
事業概要	⑥魅力あるイベントや多種多様なセミナーを開催することにより、交流人口の増加やにぎわいを創出する。 ⑦中心市街地内にある店舗、イベント情報を発信することにより、来街者の増加と回遊を促進する。 ⑧安全対策に配慮した整備をすることで、歩行者が安心して回遊できる環境を創出する。 ⑨道路や公共の場所に防犯カメラを設置することにより、犯罪の予防につなげ、安心して訪れ、暮らせる環境を創出する。 ⑩安らぎと潤いを生み出し歩いて楽しい魅力ある空間を形成することにより、来街者の回遊を促進する。
国の支援措置名及び支援期間	なし
目標値・最新値及び達成状況	目標値：平日44人/日増、休日165人/日増 最新値：事業効果計測不能 全体目標未達成
達成した（出来なかった）理由	駅周辺の各地で新たな取組が実施されたが、回遊が促進されるような仕組みのあるイベントが少なく、そのイベントに向かうだけで終わってしまい、目標を達成できなかった。
計画終了後の状況（事業効果）	現在も12店が営業を継続され、中心市街地のにぎわいを創出している。
事業の今後について	今後も、事業を推進していくことで、にぎわいの創出を図る。

#### 4. 今後の対策

市街地再開発事業により、令和11年度に商業・業務施設及び共同住宅等が整備される予定となっており、利用者や居住者の増加による通行量の増加を見込んでいる。

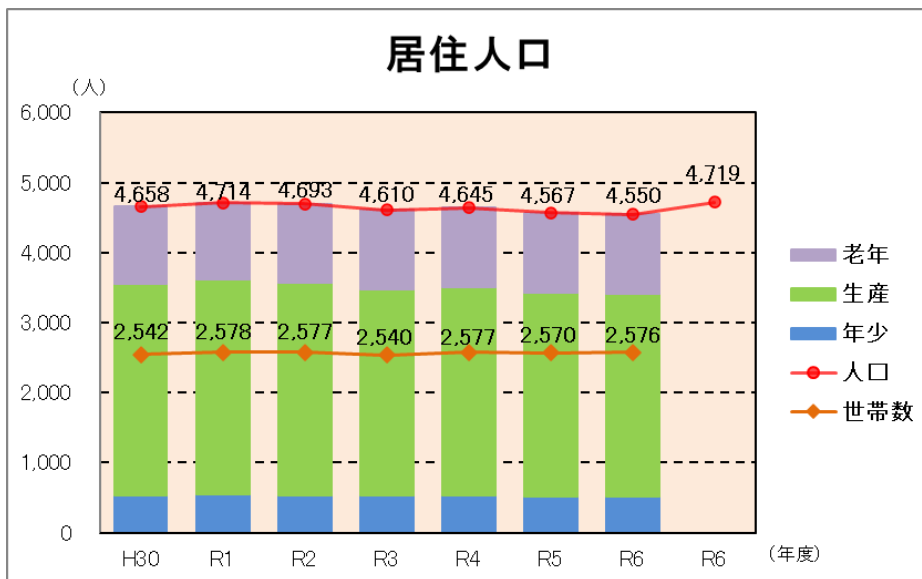
その後も共同住宅の建設が相次いでいる。

商工会議所や(株)街づくり岩国と協力しながらイベント等を通じて、来街者の増加と回遊性の促進を図るよう協力しながら事業を進めていく。

# 「居住人口」

※目標設定の考え方基本計画 P59～60 参照

## 1. 調査結果の推移



年度	単位：人
H30	4,658人 (基準年値)
R1	4,714人
R2	4,693人
R3	4,610人
R4	4,645人
R5	4,567人
R6	4,550人
R6	4,719人 (目標値)

※調査方法： 人口データ

※調査月： 令和7年1月

※調査主体： 岩国市

※調査対象： 中心市街地内の居住者

## 2. 目標の達成状況【C】

共同住宅の建設が相次いだことにより、市全体の人口が減少傾向にある中でも人口を保っているが、目標値には及ばなかったためCとした。

## 3. 目標達成に寄与する主要事業の計画終了後の状況（事業効果）

- ①岩国駅東口元町地区優良建築物等整備事業（株いきいき東）
- ②まちなかりノベーション助成事業（岩国市）【再掲】
- ③まちなか商業施設等建築促進事業（岩国市）【再掲】
- ④防犯設備整備事業（岩国市）【再掲】
- ⑤交通安全対策事業（岩国市）【再掲】
- ⑥まちなか空間魅力向上事業（岩国市・株街づくり岩国・民間企業）【再掲】

事業実施期間	事業内容
	① 岩国駅東口元町地区優良建築物等整備事業 平成30年度～令和3年度【完了】
	② まちなかりノベーション助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】
	③ まちなか商業施設等建築促進事業 令和2年度～令和6年度【実施中】
	④ 防犯設備整備事業 令和元年度～令和2年度【完了】
	⑤ 交通安全対策事業 平成25年度～令和6年度【実施中】
	⑥ まちなか空間魅力向上事業 令和2年度～令和6年度【実施中】

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 岩国駅東口に交流施設および共同住宅を整備することで、にぎわいの創出及びまちなか居住を促進する。</li> <li>② 不動産所有者に対して遊休不動産の活用を図るための改築を助成する。</li> <li>③ 不動産所有者に対してにぎわいを創出する商業施設等の建築を助成する。</li> <li>④ 道路や公共の場所に防犯カメラを設置することにより、犯罪の予防につなげ、安心して訪れ、暮らせる環境を創出する。</li> <li>⑤ 安全対策に配慮した整備をすることで、歩行者が安心して回遊できる環境を創出する。</li> <li>⑥ 安らぎと潤いを生み出し歩いて楽しい魅力ある空間を形成することにより、来街者の回遊を促進する。</li> </ul>
国の支援措置名及び支援期間	なし
目標値・最新値及び達成状況	目標値：4,719人 最新値：4,550人 目標未達成
達成した（出来なかった）理由	上記の各種事業等について、中心市街地の人口増加に一定の効果が認められたものの、それを上回るペースで人口減少が進行したため、中心市街地の人口は概ね横這いで推移している。
計画終了後の状況（事業効果）	期間中に民間事業者による共同住宅の建設が相次いだことや、岩国駅東口元町地区優良建築物等整備事業により住戸が増加したことに加え、今後も区域内に共同住宅が建設される予定であり、人口が増加することが予想される。
事業の今後について	今後も実施中を引き続き実施するとともに、完了したハード事業で整備した施設を活用した各種事業の実施も検討する。

#### 4. 今後の対策

これまで、優良建築物等整備事業によりまちなか居住の推進を図り、中心市街地の人口増加に向けて取組を行ってきた。

その中で2017（平成29）～2018（平成30）年度には民間事業者による共同住宅の建設により居住人口は社会増となり、一定の人口規模を維持できた。

これらの事業等により、市全域では人口が減少傾向にある中でも中心市街地においては居住人口・世帯数ともに概ね横ばいで推移している。

居住施設の供給や環境の整備など居住人口の増加を図る取組は、まちの経済活動の活発化や地域活力の向上につながることから、中心市街地の活性化のために必要と言える。

そのため、今後も引き続き、岩国駅前南地区第一種市街地再開発事業に取り組み、拠点施設の整備に併せた共同住宅の整備を行うとともに空き店舗等既存リソースを活用したまちなかの魅力や都市機能の向上に取り組み、まちなか居住を促進する。